

# 2017年 暮らしの瓦版

11月号

## 『リフォーム相談』承ります

～悩んでいるなら、まずはご相談を！～



外壁吹付・クロスの貼り替え・和式トイから洋式トイへ変更等

永く住むためには、定期的な住まいのメンテナンスが欠かせません。あなたの大切な住まいの診断（相談）のできるお医者さん（工務店）はありますか？どんな小さなことでもご相談ください。 0120-520-523 担当 兼子

## スレート屋根の貼り替え ~スレート屋根からガルバリューム鋳金屋根へ~

20年前のスレート屋根が劣化した為、お客様より依頼があり、カバー工法にて施工しました。

Before



After



### カバー工法とは

既存の屋根材を撤去せず  
その上から新しい屋根を  
設置する工法です。  
解体しなくてもいい為、  
時間が短く、費用も安く  
雨の養生も不要です。

小さな工事も  
承ります。  
ご相談下さい

板井建設のイベントや行事をご紹介するために、会社及び社長のフェイスブック投稿記事を掲載しています。



岐阜の新築・リフォームなら53年の確かな実績 栃井  
建設さんが写真2件を追加しました。

9月23日 16:35

お引き渡し3年目の定期点検にお邪魔しました。さすがSE構法「重量木骨の家」なんの問題もありませんが、プロの定期点検をお願いしてますIGコンサルタントの点検員さんがしっかりチェックしてくれます。お客様も弊社も大満足です。余談ですが、お子様がバトミントンのシャトルを桶の中に落としてしまったというお話を、点検員さんが梯子をかけてとってくれました。そこまでやるか。大切なビジネスパートナーです。感謝満足



渡邊 浩さんが写真3枚を追加しました。  
10月14日 15:45

白川郷どぶろく祭り、今年は女っ気なし。(笑) 怪しげな連中と一緒にですが、弊社の仕事をしてもらっています大工さんや協力業者のスタッフです。みんないい仕事をしてくれる気の置けない仲間たちです。どぶろくの振る舞い、いいよ始まりです。9年連続で参加していますが今年も美味。お代わり自由ですがほどほどにしておきます。



発行

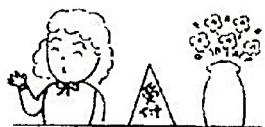
新築・建替え・リフォーム・増改築のことなら

板井建設工業株式会社

岐阜市河渡3丁目138番地

0120-520-523

ISO9001認証取得



おかげさまで  
56周年

# ふれあいタイム

第219号

## 第8回 住まいのよろず相談会 in 「クリナップ」

11月18日(土) 10:00~16:00

今回は初めてクリナップ岐阜ショールームにて開催いたします。  
ぜひお気軽にご来場ください。

今回は、元銀行マンのファイナンシャルプランナーの先生をお招きして  
お金にまつわる相談ブースを設けてお待ちしております。

会場：クリナップ  
岐阜ショールーム

岐阜市中鶴3-6-1  
058-275-6533



まちこども×栃井建設工業株式会社  
**SPECIAL COUPON**  
スイーツギフト券

某有名ケーキ店  
スイーツギフト券  
プレゼント

～予約・お問い合わせ～  
0120-520-523 担当 渡邊 勲

わたなべ 渡邊 いさお 勲

## ☆岐阜市河渡モデルハウス建設開始☆



いよいよ岐阜市河渡モデルハウスが動き始めました。  
11月6日に建て方を行う予定です。

### 第一弾 現場見学会「構造見学会」

11/18(土)・11/19(日)

10:00~16:00 (15:00受付終了)

### 完成見学会

2018年

1/20(土)・1/21(日)から随時開催



～申し込み・お問い合わせ～

0120-520-523 担当 渡邊 勲

わたなべ 渡邊 いさお 勲

## 第5回

## 餅つき大会開催します

12月17日(日)

AM10:00~

会場：栃井建設工業(株) 駐車場



餅つき体験できます！



どんな小さなことでもお気軽にご相談下さい。  
当社は、お客様満足度地域No.1を目指しています。

## 職場の教養

一般社団法人倫理研究所「職場の教養」より抜粋

10/25 ☆ 思いやりの心

～人や物事を違う角度で見つめてみましょう～

日々の生活や仕事を進めていく上で、自動車は欠かせない存在です。運転する人が交通ルールやマナーをどう守っているかが、事故を未然に防ぎ、安全な社会生活を築く一番の大本といえます。

タクシードライバーのSさんは、常に安全運転に努めています。特に、信号機のない横断歩道を渡ろうとする歩行者には、細心の注意を払うといいます。

こうした状況で、歩行者が視野に入っても、歩行者を優先させることなく、そのまま走り抜けてしまうドライバーがいるのも事実でしょう。

Sさんは、横断歩道の近くに歩行者を見かけると、「あのお年寄りが自分の父親や母親だったら、あの子供が自分の孫だったら」と思うようにしています。すると、自然にブレーキに足がいき、優しく停車できるそうです。

同じ物事でも、自分自身や自分の身近な人に置き換えて考えることで、見え方が変わってくるものです。思いやりの心を忘れないためにも、別の角度から物事を見つめる習慣を持つておきましょう。

栃井建設工業(株)ホームページ  
<http://www.totii.co.jp>

